

2016年の回顧と2017年の展望

景気回復に向けて、いま為すべきことは？



2017年2月23日

ブラジル日本商工会議所 繊維部会

部会長 東洋紡ブラジル 南村幸彦

目次

＼16年の回顧

- 綿花
- 綿糸
- 合繊
- 生地・既製服
- ファスナー
- 総評

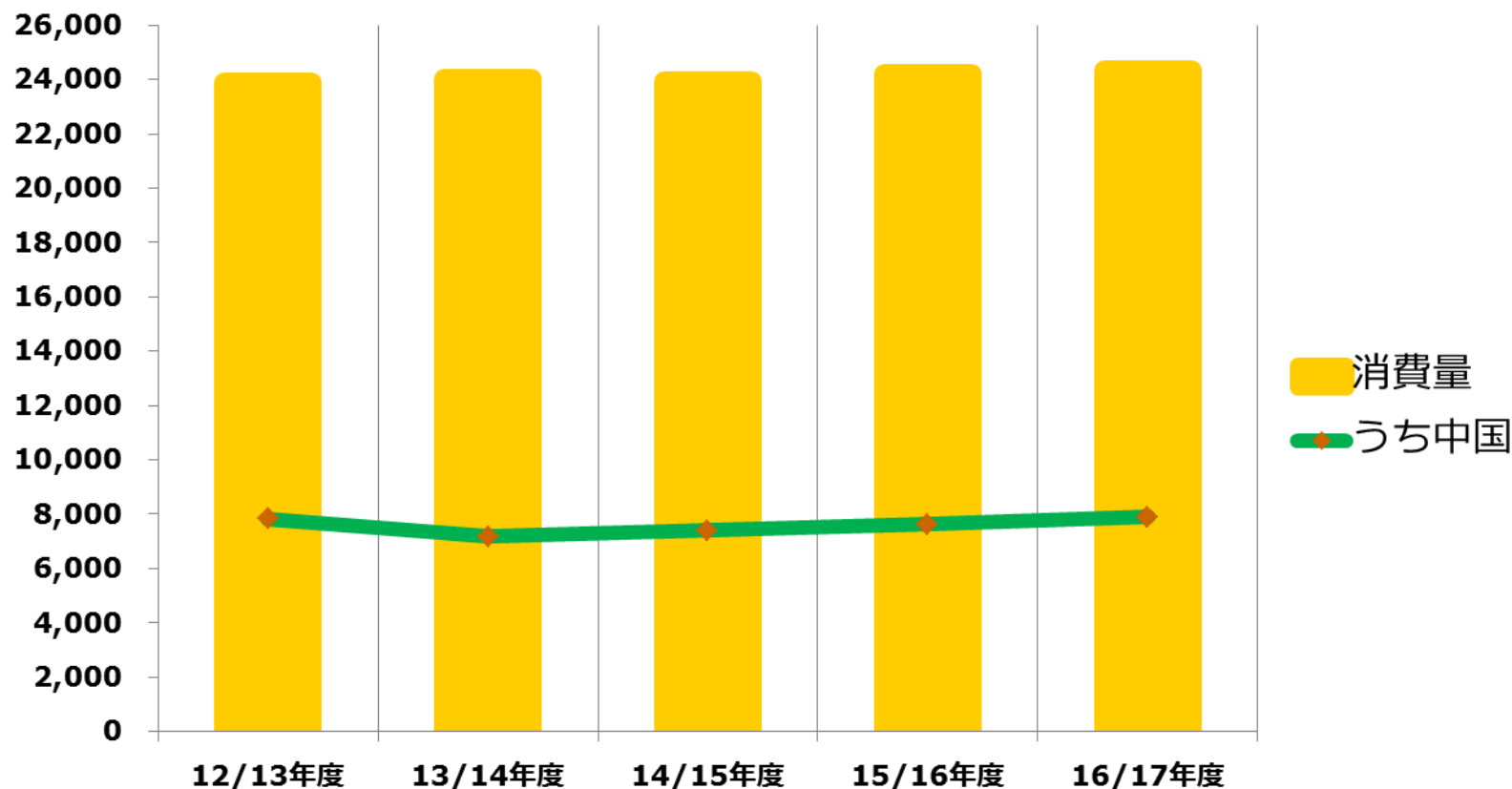
＼17年の展望

- 世界の綿花需給
- 国内の綿花需給
- レアル高の影響
- 綿糸市況
- 国内競争の激化

副題

- 課題整理
- 取り組み

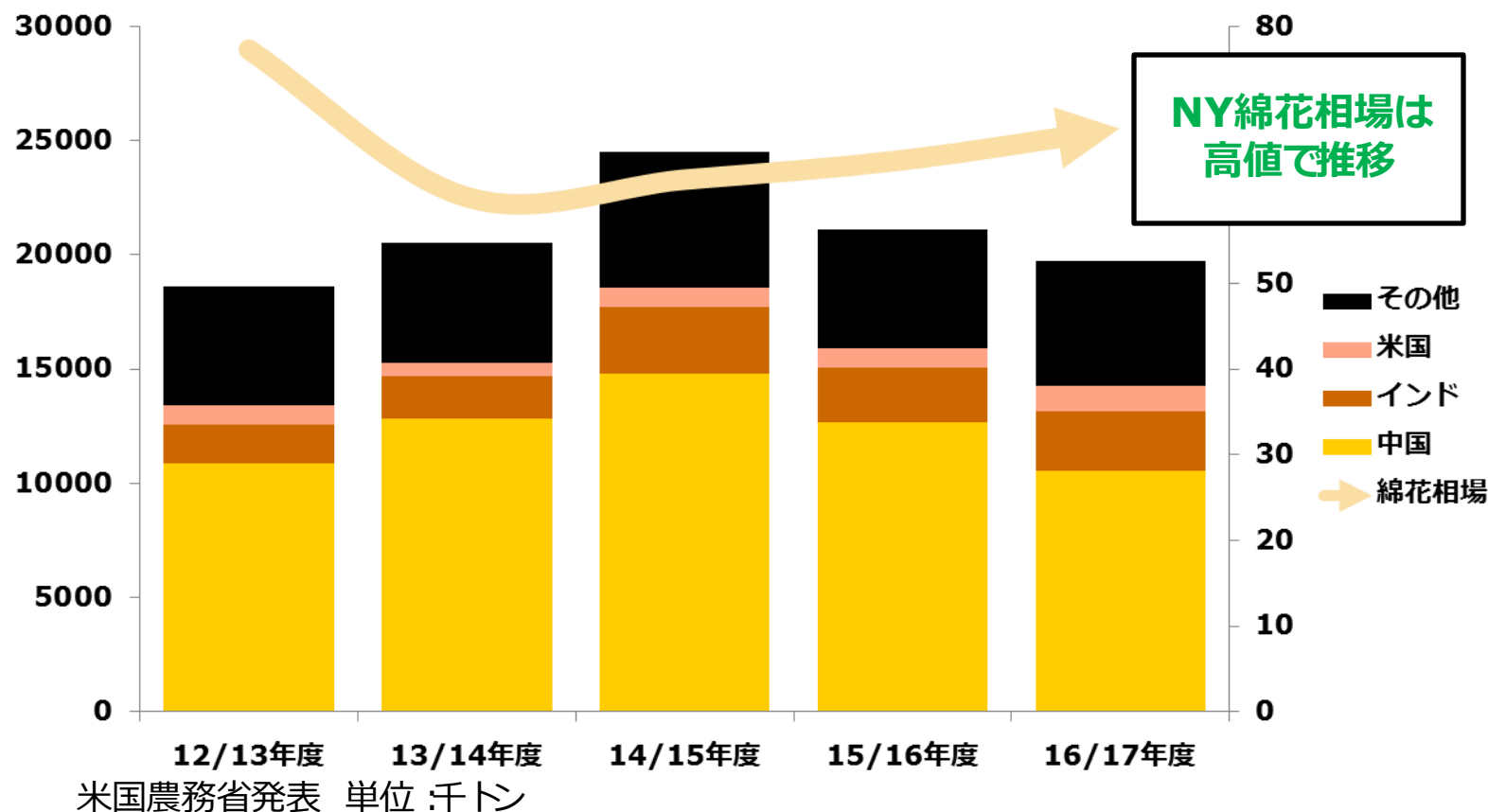
世界の綿花 消費量



米国農務省発表 単位:千トン

- 綿花消費量は安定的に推移している。中国が1／3弱を占めるが、綿花輸入量ではバングラデシュとベトナムに次ぐ第三位となり、影響力が緩和された。

世界の綿花 在庫量とNY綿花相場



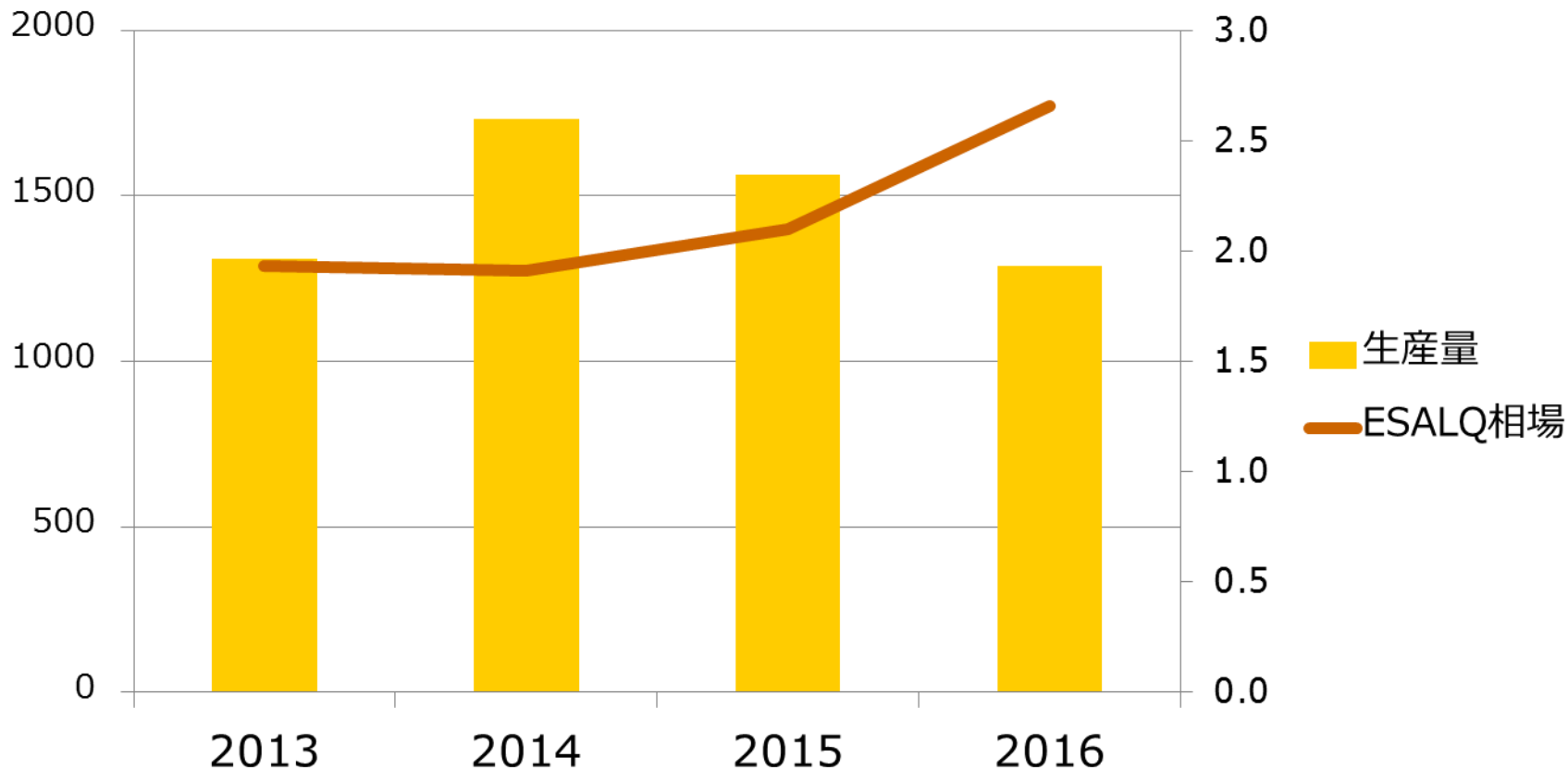
- 綿花余剰在庫の減少傾向が継続し、NY綿花相場は高値で推移した。
- 需給バランスから'17は堅調な相場を予想するが、米国の経済政策と為替相場の動向しだいでは綿花相場にも影響が及ぶ。

ブラジルの綿花 生産量と相場



(単位:千トン)

(単位: R\$/ L.B.)

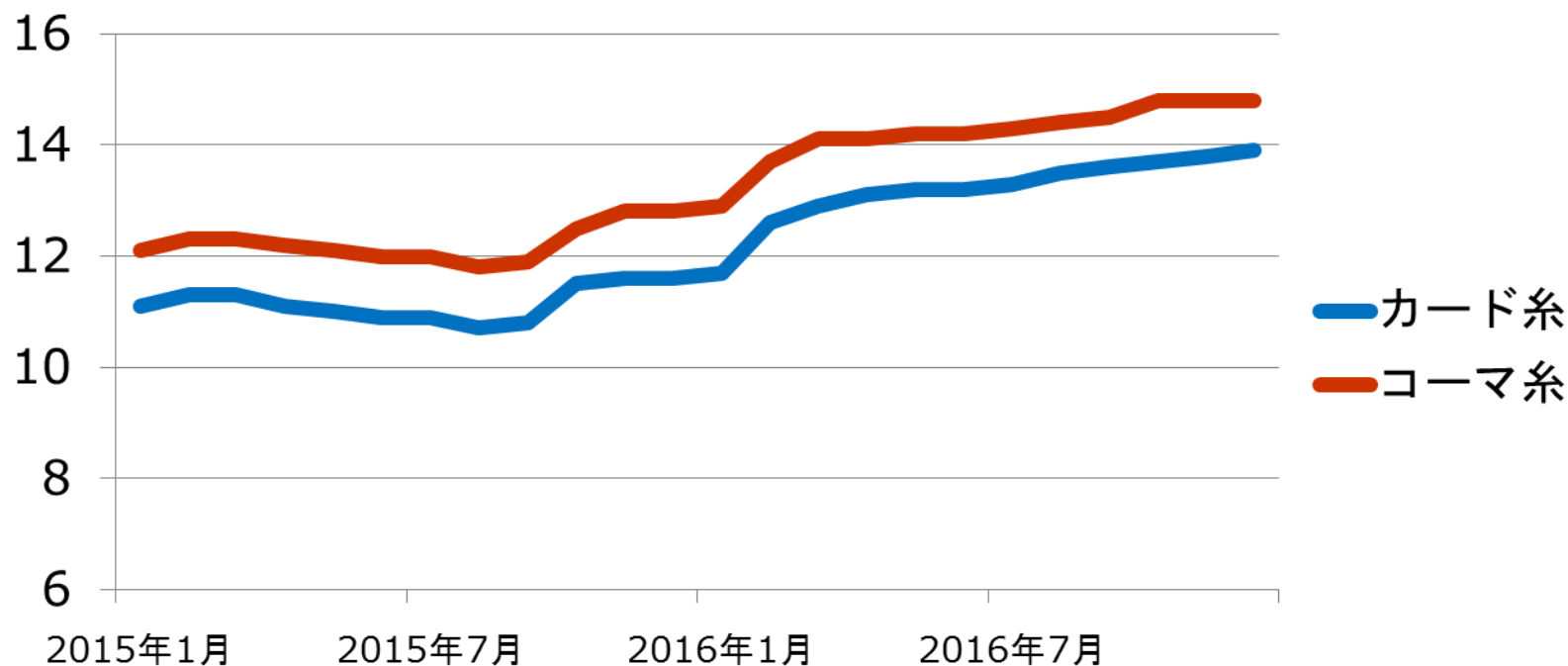


- 綿花生産量は前年比で減少(バイア州の不作)。消費需要も減少したが、輸出が優先されたため、国内への綿花供給は不足気味となった。
- 綿花価格は高いレベルで推移し、綿糸の製造原価を上昇させた。



国内の綿糸相場

(単位: R\$/kg)

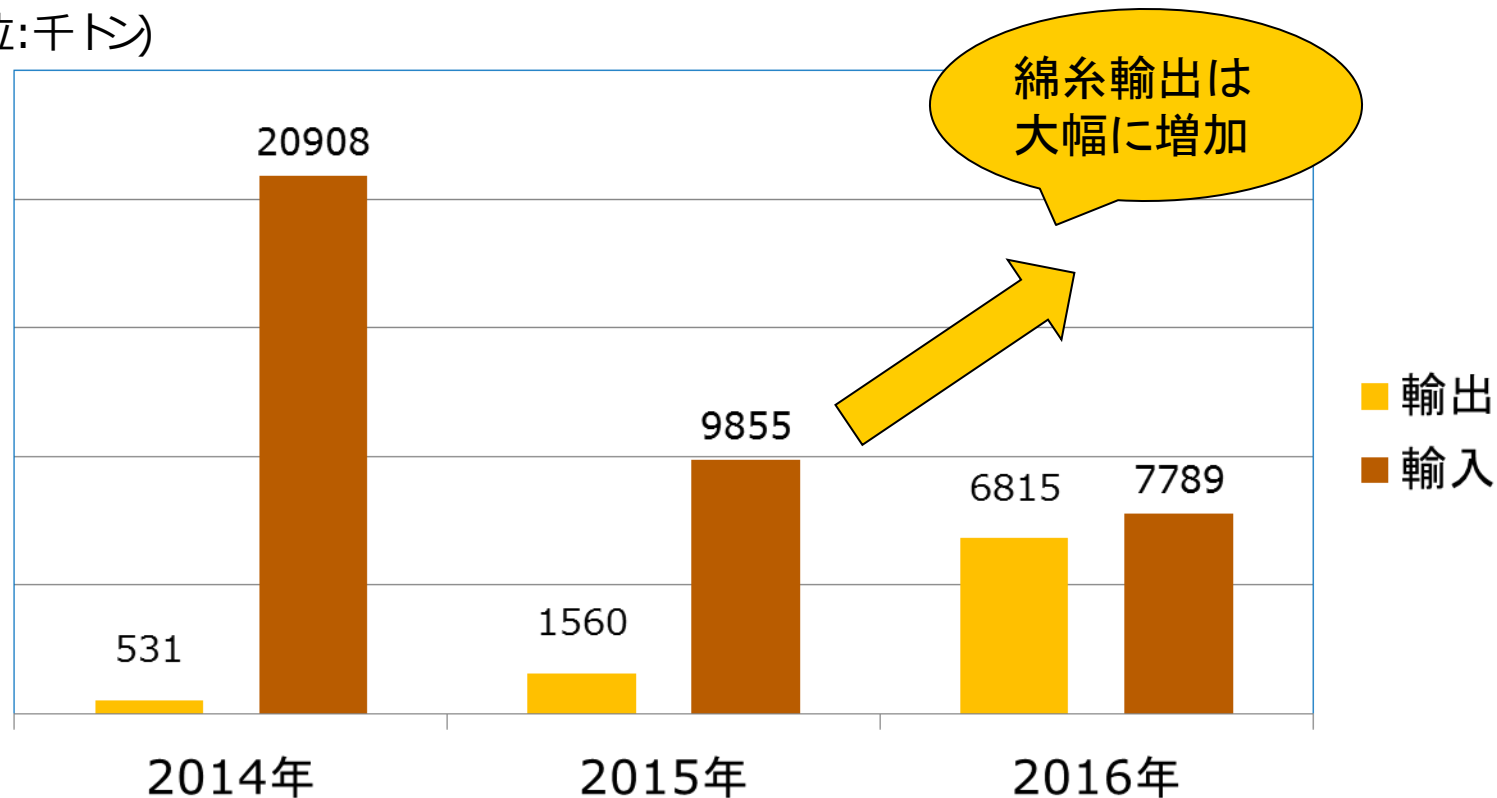


- 綿花価格が上昇を続け、厳しい1年となった。綿糸市況も上昇したが、ブラジル紡績の安値販売により綿花コスト増を補うまでには至らなかった。
- 下半期は、為替相場に対する不安感から衣料品の輸入が減り、国内生産回帰による綿糸受注が堅調となった。



綿糸の輸出入

(単位:千トン)



- レアル安が続いて、南米諸国向けの輸出が好調に推移。逆に綿糸の輸入は市況の低迷もあって20%を超える減少となった。
- '17年は、レアルの反発による採算悪化から、綿糸輸出は勢いを無くすの見込む。逆に紡績系の需給タイト感が増せば、綿糸輸入は大きく増えよう。

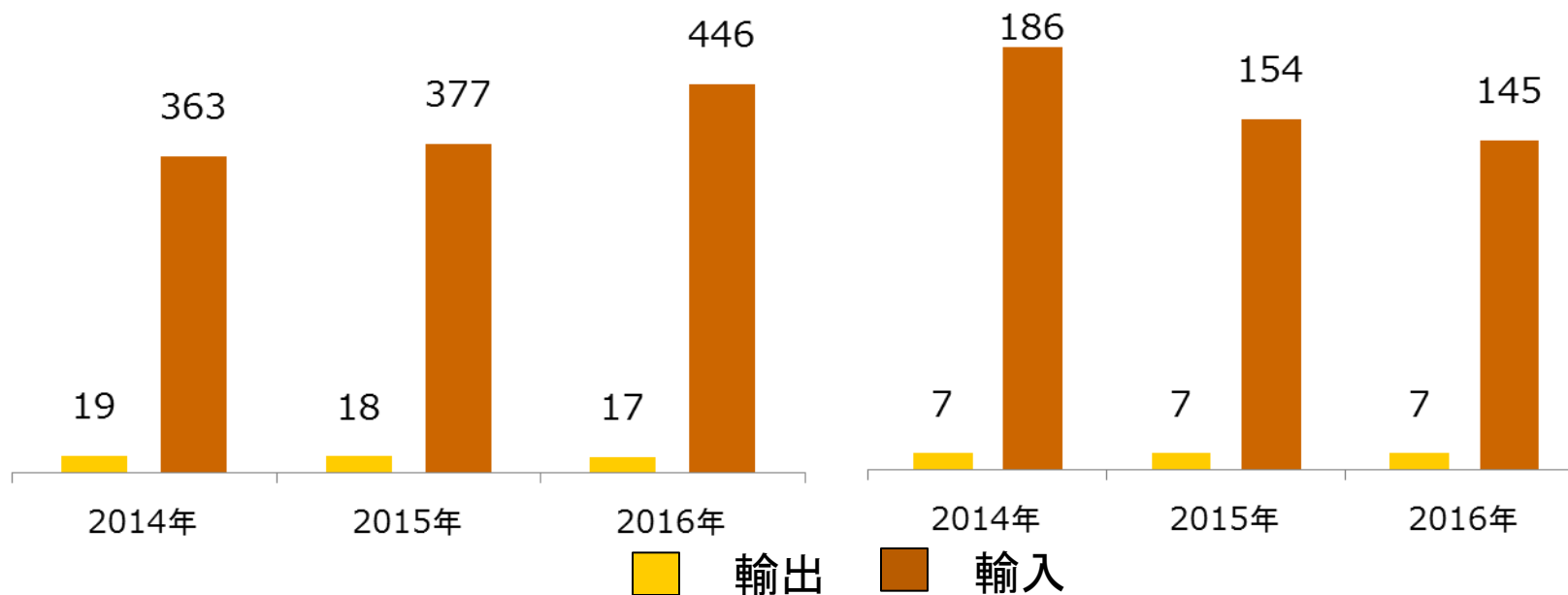
合成繊維の輸出入



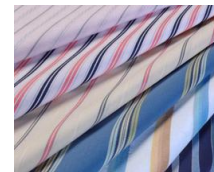
(単位:千トン)

合成繊維 ファイバー

合成繊維 織物

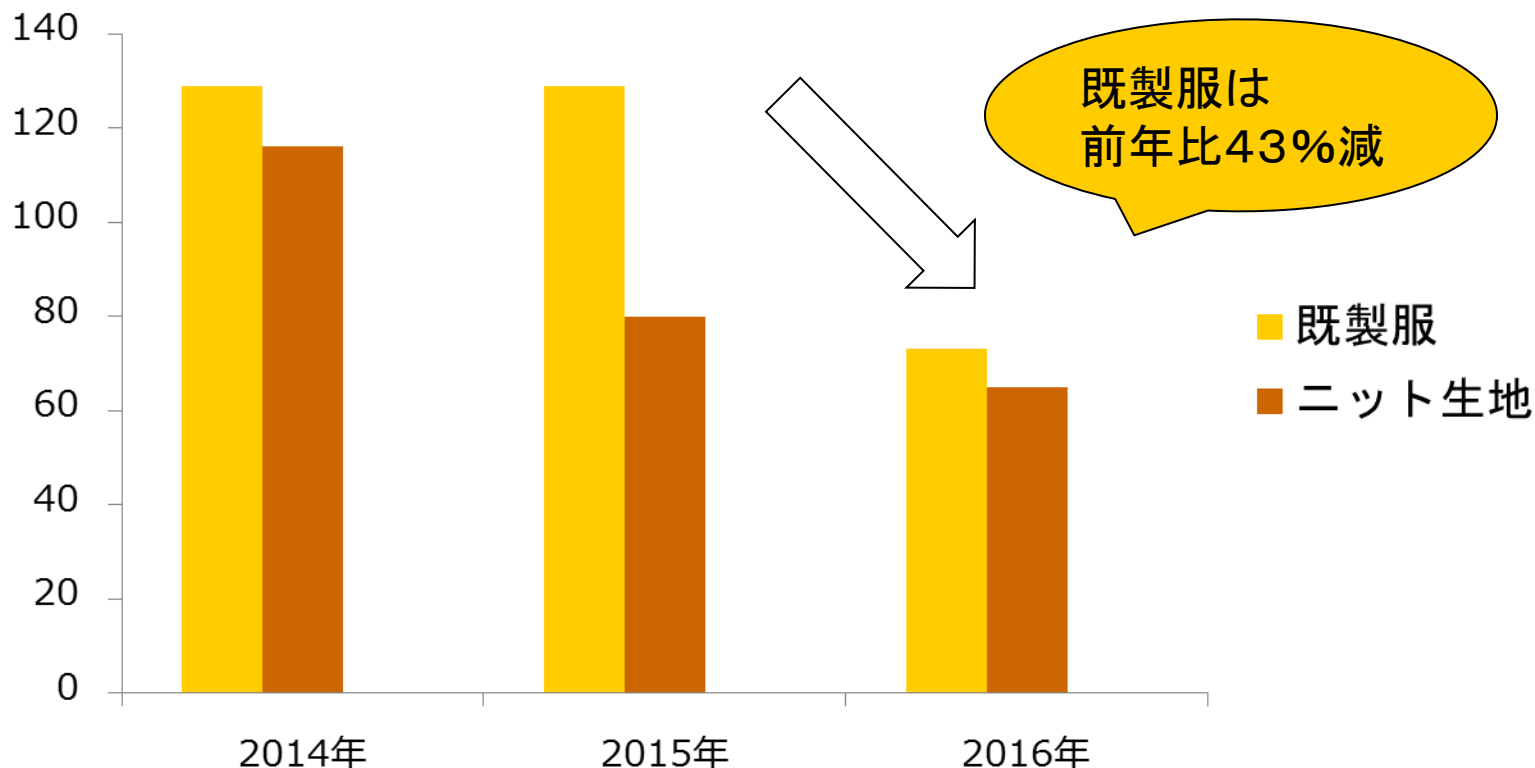


- 国内消費は更に悪化し、有力企業は輸出に活路を求めたが弾劾裁判成立以降の為替持ち直しにより成約は低調であった。
- '17も需給の改善は期待薄であり、現行の為替水準が続けば輸入増、国内生産減となる怖れがある。

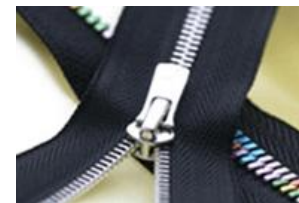


ニット生地・既製服の輸入実績

(単位:千トン)

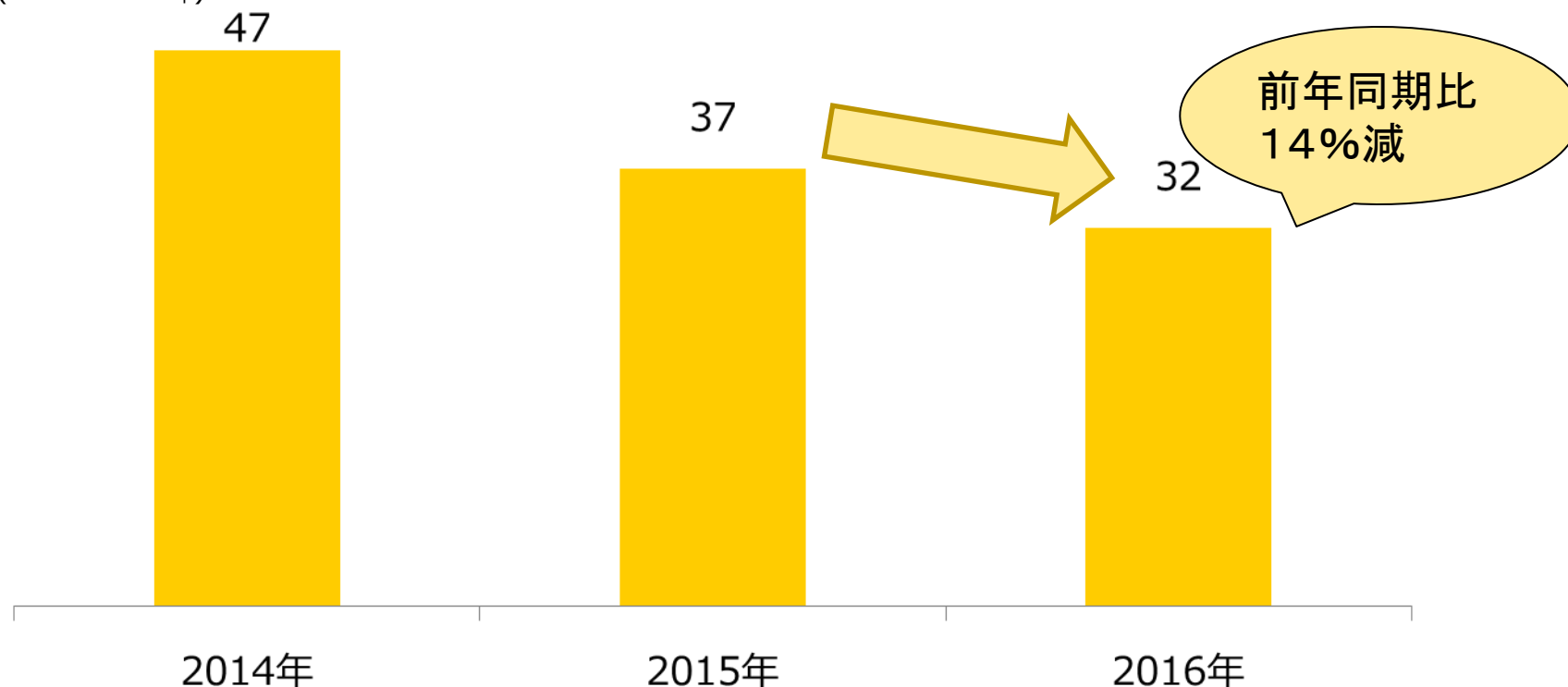


- 消費の低迷により小売業界の売上がダウンし、大統領罷免の後も先行きの不安から市場は回復しなかった。
- 対年同期と比べて、ニット生地の輸入は19%減、既製服は43%減となった。



ファスナーの輸入実績

(単位:百万US\$)



- '15年と同様に、ブラジル全体の景気低迷により消費が冷え込んだことで、国内のアパレル生産が減少した。これによりファスナーの輸入も14%減少した。
- 依然として消費の低迷が続いていることから、本格的な国内生産の回復はまだ先とみられている。

2016年 総評

景気後退〉家計購買力低下〉衣料品支出の減少〉



衣料製品の価格下落＝糸・織布素材の価格下落



原料費高騰 コストインフレ



綿花の品質向上〉国際競争力UP〉輸出増加

〈NY綿花相場高〉

- 原料高と製品安が年間を通じて継続し、繊維事業には厳しい1年となった。

目次

＼16年の回顧

- 綿花
- 綿糸
- 合繊
- 生地・既製服
- ファスナー
- 総評

＼17年の展望

- 世界の綿花需給
- 国内の綿花需給
- レアル高の影響
- 綿糸市況
- 国内競争の激化

副題

- 課題整理
- 取り組み

2017年の展望

世界の綿花 需給

- 季末在庫は減少すると予想。需給バランスからは堅調な相場が見込まれる。

国内の綿花 需給

- 原綿調達は、新綿が出る7月後半までは高品質品の供給不足が懸念される。

レアル高の 影響

- 綿糸および製品の輸入が増え、国内生産と販売に大きなマイナス要因となる。

綿糸市況

- 一部に底打ち感は見られるが、綿糸市況に好影響が出るのはもう少し先となる。

国内競争の 激化

- ブラジル紡績会社との価格競争はこれまで以上に激しさを増す。

目次

‘16年の回顧

- 綿花
- 綿糸
- 合繊
- 生地・既製服
- ファスナー
- 総評

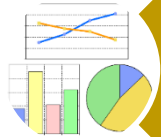
‘17年の展望

- 世界の綿花需給
- 国内の綿花需給
- レアル高の影響
- 綿糸市況
- 国内競争の激化

副題

- 課題整理
- 取り組み

課題整理



汎用品の価格競争（輸入品増）激化による、市場シェアおよび販売量の減少。



ブラジル特有の阻害要因（複雑な税制、労働コスト、未整備なインフラ、諸規制、汚職）

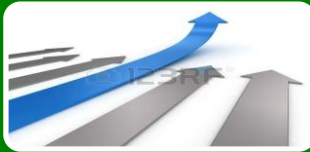


新しい市場創り、国内不況時にも強い販路をどうやって見いだせるか。



糸だけでは出せない付加価値を衣料品トータルで表現し、国内不況に強い業態へと変わる。

業界の取り組み



高機能製品・先端素材の市場開拓

- 今年度後半以降の景気回復を見据えた事業拡大



ブラジル企業としての実務経験蓄積

- 社内体制（リスク管理、人事、法務など）の構築



海外市場への販路拡大

- 有力企業との連携、営業活動の強化



国産品キャンペーン

- ブラジル綿花生産者協会が国内綿100%衣料をPR

Muito Obrigado
ありがとうございました。

繊維部会